

市政懇談会(壬生川公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年7月21日(木)19:30~20:37

参加者：52名(市民 38名、職員 14名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
1	・南海トラフ巨大地震が発生した場合に備えて、高知県などは避難タワーを設置しているが、2月の移動市長室で、市長から西条市に避難タワーは必要ないと伺った。避難タワーが必要ないとの結論に至った経緯について伺いたい。	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の結成促進にご協力頂き、心から感謝致します。 <p>【市民安全部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政府や愛媛県の見解によると、瀬戸内海が震源の場合は、津波は発生しないとされています。また、南海トラフ巨大地震による津波が瀬戸内海の方に回ってくる場合、満潮時の津波高は3.4mで、満潮時の潮位1.9m+津波1.5mが約3時間半後に到達します。地震発生と同時に老朽化している堤防、防波堤、護岸等が崩壊し、数分後にゆっくりと海水が、流入してきますが、歩いて避難することは可能です。西条市では、津波到達までに時間的な余裕があることから、できるだけ内陸の高台に逃げてほしいと考えています。また、避難タワーは費用がかかることから、市では代わりに津波避難ビルを指定しています。今後も、ビルの所有者と協議し、避難ビルを増やしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願い致します。 	—	・市民安全部
2	・自主防災組織の資材倉庫を平場に設置しているが、津波などで流される可能性が高いので、高床式の倉庫にした方がよいのではないかと。	<p>【市民安全部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3.4mの津波により、資材倉庫が水没する地域もあります。しかし、津波で倉庫が全て流されるとは限りません。その場所に設置した倉庫が、全て役に立たないわけではありません。ご質問のとおり、最悪の場合を考えて、地域の方と協議をしながら、最適な場所を選定して設置していくようにしたいと思います。 	—	・市民安全部
3	・特別養護老人ホームの需要が高いと思うので、もっと施設の数を増やしてはどうか。	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、済生会西条病院が100床増えています。施設の数を増やすには、人口の制約や新設する施設数にも取決めがあります。まだまだ入居希望の方が入居できていないとのことですが、単純に施設の数を増やすと介護保険料も増加します。そのあたりを考慮しながら、皆さんの要望に答えていける様にしていかなければならないと考えています。 	—	・保健福祉部
4	・75歳以上に給付している長寿祝い金について、この予算を福祉の方に回したらどうか。	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿祝い金については、予算総額約5,000万円です。各種補助金等の見直しにより、3年以内に廃止することが望ましいとの答申を受けており、今年が最終年度となります。今後は別の形で障害者対策や子育て関係の予算として、使わせてもらいたいと考えています。ご理解ご協力をいただきたいと思います。 	—	・保健福祉部

市政懇談会(壬生川公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年7月21日(木)19:30~20:37

参加者：52名(市民 38名、職員 14名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
5	<p>・いきいきバスの支払い方法が変わったが、どの辺の運用が変わったか改善点を教えてほしい。また、制度変更後の利用率や、チケット代以外に、瀬戸内バスにいくら補助金を出しているのか教えて欲しい。今後、また改善される計画があるか伺いたい。</p>	<p>【市長】 ・いきいきバスについては、平成28年7月から試験的に運用を見直しました。これまで周桑バス限定で利用できましたが、西条市内で乗・降車する場合に限り、他の会社のバスも利用できるようになりました。また、西条駅を中心に、病院や学校等主要な場所を巡廻する路線も増やしましたので、今まで以上に利用しやすくなったと思います。 ・前の制度については、西条市に住んでいる75歳以上の人口約17,000人に対して約1,500人の利用がありましたが、今回の取組では、3倍の4,500人ぐらいの方に利用してもらうような予算を組んでいます。今後、経営が良くなりましたら、路線も増やしていきたいと思っています。 ・せとうちバス、せとうち周桑バスでは、夏休みや春休み、年間を通じて土、日、祝日は、大人一人につき子ども2人まで運賃を無料にしています。 ・補助金については、周桑バスに対して約9,000万円の補助金を支出しています。7月からの運用ということで、現在、1,100人か1,200人ぐらいの方がチケットを購入してくれています。</p>	—	・保健福祉部 ・企画情報部
6	<p>・壬生川北排水ポンプ場で、市職員が点検をした時に、運転スイッチを自動から手動に変えていたため、田んぼに水が入ってしまった。スイッチを変更したのであれば必ず連絡してもらわないと困る。今後は徹底してほしい。</p>	<p>【東予総合支所長】 ・壬生川北排水ポンプ場は、壬生川土地改良区に管理を委託しておりますが、職員の連絡不足でご迷惑をおかけしました。担当課へ連絡体制を徹底するよう伝え、トラブルのないように改善していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>	—	・東予総合支所 ・農林水産部